

町民と議会を結ぶ広報紙

太子町議会だより

No
203

和のまち

安心を乗せて
走り続ける、
これから。

5月臨時会		P2 ～ P3
6月定例会		P4 ～ P7
一般質問		P8 ～ P12
どうなったあの答弁		P13
太子町ヒストリー ～大動脈「新快速」を支える 網干総合車両所～		P16

5月臨時会

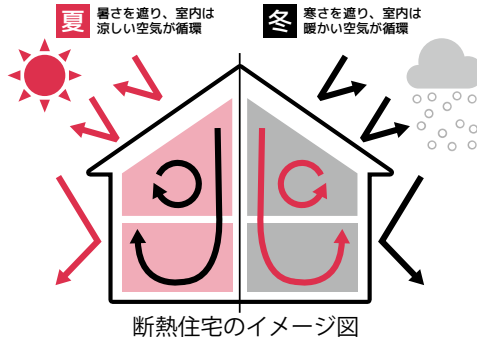
5月13日に開催され、補正予算1件、条例改正1件、人事1件を全て原案のとおり可決した。

成長と分配の好循環の実現へ
専決処分した税条例（一部改正）を承認

令和4年度税制改正の基本的考え方に基づき、成長と分配の好循環の実現として、景気回復に万全を期すため、土地に係る固定資産税及び都市計画税の負担調整措置につき、激変緩和の観点から、令和4年度に限り、次のように定める。

①商業地に係る課税標準額の上昇幅を、評価額の2.5%（現行は5%）に抑制する。

②納税環境整備として、固定資産課税台帳の閲覧など住所を明らかにすることで、DVやストーカー行為により、人の生命又は身体に危害を及ぼすおそれがあると思われる場合は、一定の



措置を講ずることができる。本町は法改正以前より証明書発行は、原則本人の申請のみとしており、より厳格に職員による二重チェックで対応している。

③熱損失防止改修工事等省エネ改修を行った住宅等に係る固定資産税の減額措置の対象は、平成

26年4月1日以前から所有する住宅でその改修期限を令和6年3月31日まで延長する。具体的には、窓の改修（二重サッシ化等）を含む床や天井、壁の断熱改修である。

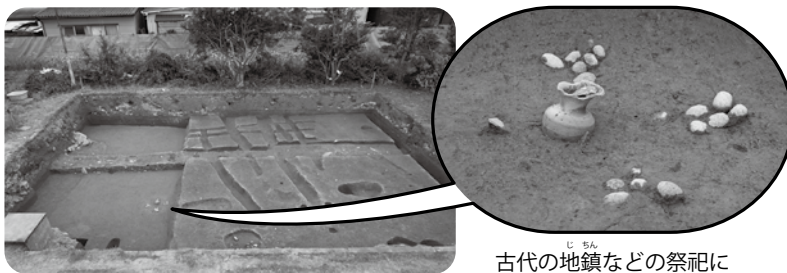
令和4年4月1日より施行する。
全員賛成により承認。

専決処分した固定資産評価員の選任

令和4年4月1日付けの人事異動に伴う税務課長の選任。
全員賛成により承認。

水道事業会計補正予算932万円の追加

吉福水源地導水機能整備工事中、敷地内で



遺跡が発見され、発掘調査委託料の増額内容を審議した。
全員賛成により可決。

令和4年5月臨時会議決結果 全員賛成で可決・承認した議案等

議案名	
補正予算	水道事業会計補正予算(第1号)
承認	専決処分したのものにつき承認を求めるもの(税条例の一部改正)
	専決処分したのものにつき承認を求めるもの(固定資産評価員の選任につき同意を求めるもの)

組合議会・各審議会、協議会と 広報広聴委員会の構成決まる！



揖龍保健衛生施設事務組合

議員 藤澤 元之介
議員 上山 隆弘
議員 出原 賢治

●揖龍保健衛生施設事務組合議会



太子消防署

議員 長谷川 正信
議員 松浦 崇志

●西はりま消防組合議会



広報広聴委員会の様子

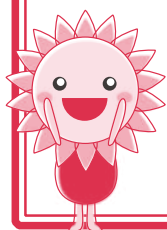
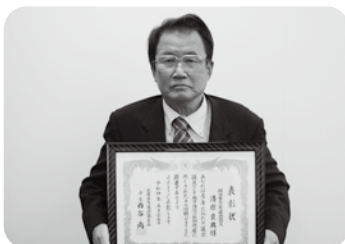
広報広聴委員会

委員長	副委員長	委員	委員	委員	委員
森田 哲夫	出原 賢治	藤澤 元之介	井村 淳子	首藤 佳隆	中薮 清志
上 山 隆弘	上 山 隆弘	上 山 隆弘	上 山 隆弘	上 山 隆弘	上 山 隆弘

都市計画審議会	民生委員推薦会	国民健康保険運営協議会	社会福祉協議会	民主化推進協議会	中小企業・小規模企業振興協議会
委員 首藤 佳隆	委員 井村 淳子	委員 中薮 清志	委員 玉田 正典	評議員 清原 良典	理事 森田 哲夫
委員 吉田 正之	委員 吉田 正之	委員 吉田 正之	委員 吉田 正之	委員 吉田 正之	委員 吉田 正之

兵庫県町議会議長会自治功労者表彰

5月24日、兵庫県町議会議長会第73回定期総会が開かれ、長年にわたり地方自治の振興発展に尽力された功績が認められ、清原良典議員が自治功労者（町議会議員15年以上在職功労者）表彰を受賞されました。



6月定例会

6月1日から17日までの17日間の日程で開催された。報告4件、人事1件、補正予算2件、条例改正1件、契約3件、請願1件、意見書案1件が上程され、審議した結果、全て原案のとおり可決した。

地方自治法及び地方公営企業法により報告する案件

①令和3年度兵庫県太子町一般会計繰越明許費繰越計算書について

繰り越される主な事業…旧環境センター解体事業・太子町お店応援商品券交付事業等

②令和3年度兵庫県太子町水道事業会計予算繰越計算書について

繰り越される主な事業…導水設備整備事業・老朽管更新事業・配水管整備事業

③令和3年度兵庫県太子町下水道事業会計予算繰越計算書について

子町下水道事業会計予算繰越計算書について

繰り越される主な事業…雨水幹線整備事業（雨水14号幹線）・国道179号太子バイパス下水道管布設工事

④町の出資等に係る法人の報告について
兵庫県町土地開発公社について経営状況の報告

町医の委嘱につき同意

町医の森澤英一氏の逝去に伴い新たに、くわたクリニック院長桑田博史氏を後任として任命したいとの説明

があり、全員賛成により同意された。

令和4年度一般会計補正予算（第1号）

事業執行に伴う関係経費の補正。これまでの予算に8,290万4千円を追加。賛成多数により可決。

●主な質疑応答

4回目の新型コロナウイルスワクチン接種

問 対象者と接種体制の確保について。

答 対象者は、60歳以上と18歳から59歳

で基礎疾患のある人。また、医師が、重症化リスクが高いと判断した人である。体制については、3回目接種のコールセンター要員の予算しか確保していないため、本年8月から令和5年3月末まで雇用できる予算を計上した。

問 基礎疾患患者の把握と接種対象者の周知方法は。

答 あくまで本人の申請に基づく事であるため、かかりつけ医とよく相談され、本人の接種に対する意識を持っていたかどうかにより啓発する。ホームページ及び自治会回覧でも周知し、町民への広報には力をいれていく。

上太田瓦礫^{がれき}処分場の用地購入費6,728万7千円追加



上太田瓦礫処分場

問 令和4年の当初予算では借地料として284万円の費用が計上されていたが、なぜ今回6月に土地の購入に至ったのかその経過について。

答 地権者は4名であり、土地の買い取りについて、昨年度から粘り強く交渉に臨み、ぎりぎりまで行ってきたため今の時期となった。土地売買契約について3名からは了解が得られている。上太田

瓦礫処理場は、不燃物処理の仮置場であり、災害時における不燃物の仮置場拠点として地域防災計画にも位置づけている。長期的に使う意味で購入した方が良く判断した。

問 土地の評価額とその財源について。また売買契約が得られなかった1名への対応は。

答 太子町に詳しい鑑定士に依頼し、1万1,200円/㎡との鑑定評価を得た。それに基づき売買契約者3名が所有する土地の購入費用として、今回6,728万7千円を上程した。残りの1名の地権者とは、単価202円/㎡として計算し、年額25万8,927円の賃借料を支払うこととしている。財源は財政調整基金を活用する。



太田幼稚園北園舎

1. 太田幼稚園北園舎解体等工事

工事概要

① 太田幼稚園北園舎解体等工事及び太田学童保育園プレハブ設置工事

工事請負契約締結（3件）

地方税法等の一部を改正する法律等が令和4年3月31日に公布されたことに伴い、本条例の一部が改正された。（詳細はP14総務経済建設常任委員会参照）

太子町税条例等の一部を改正する条例の制定

北園舎とそれに付属する渡り廊下の解体工事及び外構設備工事

2. 太田学童保育園プレハブ設置工事

学童保育園の新築及び外構整備工事
賛成全員により可決。

●主な質疑応答

問 工期（完成予定）は令和5年1月31日と

なっているが、新型コロナウイルスの関係で部品の調達は大丈夫か。

答 今のところ備品の調達は大丈夫であり、工期中に完成予定である。

問 幼稚園と学童保育を含め施設の今後の方針は。

答 少子高齢化の中、幼稚園の利用者数は減少しており、校区の状況を踏まえて検討していく。

② 太子西中学校外2校特別教室等空調設備設置工事

工事概要

太子西中学校・斑鳩小学校・石海小学校における特別教室等への空調設備設置工事
賛成全員により可決。

●主な質疑応答

問 これでエアコンは全ての部屋についたのか。

答 生徒及び教諭の使う部屋には全てついた。準備室・資料庫はまだである。

③ 太子東中学校外2校特別教室等空調設備設置工事

工事概要

太子東中学校・龍田小学校・太田小学校における特別教室等への空調設備設置工事

賛成全員により可決。

工事名	契約金額
太田幼稚園北園舎解体等工事及び太田学童保育園プレハブ設置工事	1億747万円
太子西中学校外2校特別教室等空調設備設置工事	1億1,880万円
太子東中学校外2校特別教室等空調設備設置工事	9,278万600円



令和4年度一般会計補正予算（第2号）

住民税非課税世帯等臨時特別給付金及び

子育て世帯生活支援特別給付金の支給に伴う関係経費の補正。これまでの予算に9,220万7千円を追加する。
賛成全員により可決。

それぞれの事業のスケジュールと町民への周知（広報）について

住民税非課税世帯等臨時特別給付金について

・令和4年度非課税世帯は7月中旬に文書通知し8月上旬に振り込み予定。
・転入者については、8月上旬に受付（申請）開始し、8月下旬に振り込み予定。これらについては8月号の広報紙に掲載する。

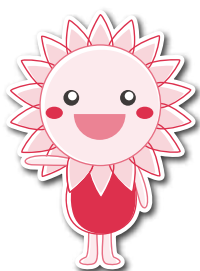
・家計急変世帯には11月に町ホームページでお知らせする。
・該当者は1世帯10万円給付される。

子育て世帯生活支援特別給付金について

・ひとり親で児童扶養手当受給者は、6月末に振り込み予定。また障害者年金受給者は7月上旬に受付（申請）し7月下旬に振り込み予定。

・家計急変世帯も同じひとり親以外の場合、令和4年度非課税者は7月中旬通知し7月下旬振り込み予定。家計急変世帯は8月上旬から受付（申請）し、8月下旬振り込み予定。これらについては8月号の広報紙に掲載する。

・該当者は児童一人当たり5万円が給付される。





子どもたちの未来のために
少人数学級の請願を採
択し、意見書を提出

揖龍教職員組合より
提出されていた請願
「教職員定数改善と義
務教育費国庫負担率2
分の1の復元をはかる
ための、2023年度
政府予算に係る意見書
採択の請願について」
が福祉文教常任委員会
に付託され審査を行っ
た。委員会より本会議
で報告され、議会とし
ても採択し意見書を国
の関係機関に提出する
こととなった。

請願

先生と子どもたちの明るい未来に 向けての意見書を提出



請願第5号

「教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1の復元をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について」

【国へ意見書を提出】

- ①中学校・高等学校での35人学級を早急に実施。
- ②加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善を推進。
- ③自治体で「学級編制基準の弾力的運用」の実施ができるよう、加配の削減をしないこと。
- ④教育の機会均等と水準の維持向上のため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に復元。

令和4年6月定例会議決結果

賛否の分かれた議案

議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「退」、欠席者は「欠」、議長は「一」とします。
議長に表決権はありません。

議 案 名		賛 成	反 対	結 果	松 浦 崇 志	出 原 賢 治	森 田 哲 夫	吉 田 正 之	長 谷 川 正 信	玉 田 正 典	上 山 隆 弘	中 薮 清 志	堀 卓 史	首 藤 佳 隆	清 原 良 典	井 村 淳 子	藤 澤 元 之 介	中 島 貞 次
補正予算	一般会計補正予算(第1号)	9	4	原案可決	○	×	○	×	○	○	×	○	○	○	○	×	○	一

全員賛成で可決・同意・採択した議案等

議 案 名	
補正予算	一般会計補正予算(第2号)
契約	工事請負契約の締結(太田幼稚園北園舎解体等工事及び太田学童保育園プレハブ設置工事)
	工事請負契約の締結(太子西中学校外2校特別教室等空調設備設置工事)
	工事請負契約の締結(太子東中学校外2校特別教室等空調設備設置工事)
条例	太子町税条例等の条例(一部改正)
同意	町医の委嘱につき同意を求めること
請願	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1の復元をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択
意見書案	教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1の復元に係る意見書

5月臨時会

6月定例会

議決結果

ザ・討論

一般質問

一般質問追跡

委員会報告

ザ・討論

一般会計補正予算（第1号）

反対

井村 淳子 議員

当初の提案説明は上太田瓦礫^{がれき}処分場の用地購入費、これだけだ。いよいよ用地購入するのかもしれない、質疑のなかで地権者が4名いてその内の3名の用地を購入することがわかってきた。そして各議員の質問に対する答弁でも、説明を聞く中で疑問、疑惑が湧いてくることばかりである。あまりにも不誠実極まりない説明、答弁のためすっきりしない。よって反対するものである。

反対

出原 賢治 議員

上太田瓦礫処分場に関しては、用地を購入すべきことを議場で話してきた。それ自体には反対しない。ただ、購入単価1万1,200円/mが適正なものかどうか、その判

反対

吉田 正之 議員

他の反対する議員に同意する。私の質問に対して、全く明確な答えがない。あまりにも不誠実な対応であるため、もう一度きつちりと説明し、再度提出し直していただきたい。

賛成

首藤 佳隆 議員

反対された方の理由は理解できる部分もあるが、新型コロナウイルスの4回目の接種は、やはり早くしないといけない。

当局には上太田瓦礫処分場に係る購入予算の積算根拠を早急に示すことを条件に、新型コロナウイルスのワクチン接種準備を速やかに実行してもらえよう賛成する。

コロナ&猛暑に
負けるな!

議場で

Let's study

夏休みシーズンを迎え、太子町議会の本物の議場を
自習室（スタディホール）として無料開放します。

1. 開放期間 令和4年7月21日（木）～8月19日（金）の役場開庁日
午前9時～午後5時
※ 議会や新型コロナウイルス緊急事態宣言の発令等により、急遽利用
できなくなる場合は、ホームページ等で公表します。

2. 場 所 太子町役場 議会棟（敷地東側）1階 議場
3. 対 象 中学生以上（町内外は問いません。大人の方もOK）
4. 受 付 議会事務局（議会棟1階）で受付

5. 席 数 17席（先着順。現在の空き状況をお電話で問い合わせていただいても構いません）

6. そ の 他 コロナ対策として、①マスク着用 ②手洗い・手指消毒 ③ソーシャルディスタンス確保の遵守等を
お願いするとともに、受付時の検温、（職員による）定時換気の実施にもご協力・ご理解ください。



一般質問

定例会2、3日目(6月2日～3日)の一般質問に8人の議員が登壇し、町執行機関に対し行政の在り方などを質問し、議論が行われた。

質問者	質問	掲載頁
首藤 佳隆	☞ 学校の欠席届をオンラインで連絡できるように ☞ デジタル化でよりきめ細かな住民サービスを	P8
上山 隆弘	☞ 町長より報告のあった『町政混乱解消に係る要望書』に対する進捗状況の最終報告等について』の町長及び教育長の考えを問う ・ 「20のお約束」について、二期目の任期半ばを迎えるにあたり、町長の考えを中心に成果と方針を問う	P9
長谷川 正信	☞ 適正な行政手続き、事務執行に努めよ	P9
井村 淳子	☞ 認知症予防のためにも、難聴高齢者への補聴器購入費用に助成を ・ ヤングケアラー支援への理解・啓発等、取り組みは進んでいるか	P10
中藪 清志	☞ 子どもたちのサポート体制の構築を ☞ 考えられるこれからの経済対策	P10
吉田 正之	☞ 消費税がインボイス制度に改正されるが、事業者への対応は進んでいるのか	P11
森田 哲夫	☞ 休日の中学校部活動における指導者の地域移行の体制・整備 ☞ 新型コロナウイルス感染症対策と地方創生都市実現の道しるべ	P11
出原 賢治	☞ 保育、就学前教育に関して、町としての方針を明確化せよ	P12

☞マークのあるテーマを掲載しています。その他のテーマ、全文は会議録・動画をご覧ください。 各QRコードから動画をご覧いただけます。

問 学校の欠席届をオンラインで

答 アプリの導入を視野に検討する



首藤 佳隆 議員

首藤 今回の一般質問ではデジタル化が進む中、学校の欠席届のオ

教育次長 近隣市町では保護者のスマートフォンで欠席連絡機能の入ったアプリを活用している。これによって保護者も学校側も利便性が図られる。当町においてもこういったアプリの導入を視野に検討していきたい。

首藤 昭和の時代とは違い、働く女性が増えた令和になった今でも、保護者・先生ともに朝の忙しい時間に、電話連絡で受け答えしている。現状改善に向け、オンラインで欠席連絡ができるようにしてはどうか。



副町長 世の中全体がデジタルトランスフォーメーションに移行していることや社会全体が手続きの簡素化等を考えていく方向に向いているという認識のもと、今後研究を重ね、よりよい方向にしていきたい。

オンライン化、LINEの公式アカウントの双方向機能を使った有効活用や「書かない窓口」でよりきめ細かな住民サービスをとった話をしてきたが、高度情報化計画のトップである副町長の考えは。



上山 隆弘 議員

直面する課題等共有し意見交換を行っており、円滑な教育行政の運営に取り組んでいる。報告

問 議会の要望書に対する町長の回答を問う

答 教育委員に確認していない



上山 要望書の内容は、前教育長及び教育委員会との関係解決を求めたものである。現教育長は問題に関係ない。現教育長と何を確認した報告文書か。現教育委員との検討は。

町長 指摘のとおり前教育長との問題。昨年度予算編成から、協議や精査をこれまで以上に丁寧を実施し、町議会に年度末のタイミングに文書で報告した。現教育長とは三役会議の開催や予算編成など円滑に連携できている。

教育長 教育委員会との関係改善についても、毎週、三役会議を開催し、

文書の内容は目を通した。私から異論を唱えるものではなく、期待に応えられるよう、引き続き教育委員会業務全般に力を注ぐ。教育委員との検討の場面はなかった。

上山 議会からの要望書に対して解決に至らなかったというのが報告すべき答えだ。あえて報告をするのが理解できない。教育委員とは協議すべきだ。

副町長 教育委員には教育長を通じ、間接的に思いは伝わっている。

教育長 教育委員との協議は無いが、文書に書いてあるようなことをモットーに進めている。



長谷川 正信 議員

金をより慎重に取り扱うとともに、職員間の連携強化に努めていく。

問 阿武町のような誤送金が起こる可能性は

答 公会計システムで照合し、支払別にチェックしているので起こらない



長谷川 介護保険料誤徴収の件から、行政手続きに誤りは無いと思うが、山口県阿武町の事例以降、指示・通知は行ったか。

総務部長 特別に指示はしていないが、年2回服務規律の保持等について通知を行い、執務姿勢、ハラスメント防止等の徹底を図り、町民から信頼される町政の実現に取り組んでいる。また、原点に立ち返り適正な事務執行に努め、服務規律を確保し、職務に係る倫理の保持に努めている。

今回の阿武町の事例を、他山の石とし人為的なミスを起こさないように、公

長谷川 条例の公布は、掲示板への掲示、町ホームページへの掲載、行政ギャラリーの公布冊子への回覧が一連の流れである。今回、町ホームページへの掲載がなかったが、チェック体制は、どうなっているのか。

総務部長 条例毎に、チェックリストの項目があり、チェックしているが、この度抜けていた。定期的に総務課で確認していく。



太子庁舎掲示板

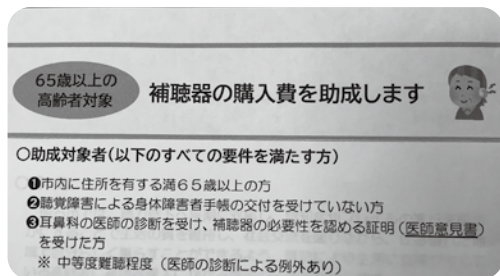
問 難聴高齢者への 補聴器購入費用の助成を 答 実施の市町や県の調査結果 を精査して検討したい



井村 淳子 議員

井村 70歳以上の半数が難聴になる。難聴を放置していると認知機能の低下に
関与することが分かってきた。聞こえを補聴器で補うことで、会話を億劫がらずに、社会との関わりを促進し、生活の質が改善されて認知症の予防策にもなる。太子町でも補聴器購入費用の助成が出来るのか。

生活福祉部長 兵庫県では、今年度より一定の条件下での助成事業が始まった。補聴器購入費用の助成が、認知症やフレイル予防につながり、社会参加活動にどの程度資するものであるかという県の調査結果や、既に実施している明石市、相生市、養父市、稲美町の状況を精査して検討したい。



明石市HPより一部抜粋

井村 実施している市の助成内容も把握しているか。
生活福祉部長 県内市町では、対象年齢が65歳以上で2〜3万円の購入助成がある。養父市、相生市、稲美町は一般財源で、明石市は介護保険の保険者機能強化交付金を財源に助成事業を実施しているようである。今後も周辺の動向や県の調査結果等を踏まえ前向きに考えたい。

問 子どもたちのサポート体制の構築を 答 やりたいことができる場を提供していかなければならない



中敷 清志 議員

中敷 部活動で運動部は県大会以上の参加で補助などがあるが、文化部への補助の対応は。

教育長 特に言うところ、奏楽部において、例えば発表の場として一回でも丸尾建築あすかホールを使えるように考えたい。

中敷 児童・生徒の頑張りを分け隔てなく、不公平感を感じないサポート体制の構築を今後一層目指すべきだ。

教育長 コロナ収束を目指す中で、やりたいことができる場を行政が提供しなければならぬ。それが子どもたち、そして町の未来のためだと思っている。

■具体的な経済対策は
中敷 企業のDX推進への町の取り組みは。

経済建設部長 中小企業・小規模企業振興協議会で検討している。導入費用や国の補助制度の概要が分かったため事業者負担など、協議会で事業者等の声を把握し検討を進めたい。

中敷 商品券の効果は。

経済建設部長 商工会の調査では事業の継続を求める声がある。高い使用実績から購買意欲の増加による経済効果や、物価高に対する経済的な支援もあると考える。



吉田 正之 議員

吉田 現在免税事業者が制度変更により廃業に追い込まれることも考

問 消費税計算方法の制度改革に どう対応するのか

答 広報のあり方や補助金支給で 事業者を支援していく



吉田 令和5年10月より消費税の計算方法がインボイス方式に変わる。これにより課税事業者のみではなく、免税事業者がより影響を受ける。これらの人に対する周知は十分か。このような大きな制度の変化の時には、これをチャンスと捉えて大きく成長するところと衰退していくところとの二局化が起きる。

経済建設部長 法改正に伴い事業継続に新たな負担を求めることになる。町広報紙やホームページで周知を図り商工会が開催するセミナーなど、町内事業者への新制度への円滑な移行を支援していく。

えられる。

経済建設部長 町内事業者には県の活性化センターの相談会等を活用しながら制度を周知したい。今後の検討になるがDXへの支援を丁寧に説明していきたい。

吉田 今後検討されるであろうT補助金について不正防止策をどのように考えるか。事業再生補助金は不正受給が横行している。不正受給のない方法はあるのか。

経済建設部長 不正がないような制度設計をしなければならぬが、方法として国の制度に乗りかかるとか商工会との連携などが考えられる。他の市町などの方法を参考にしながら検討したい。



森田 哲夫 議員

■コロナ感染症対策と地方創生都市実現へ
森田 新型コロナ対策として使用する手指消毒

問 休日の部活動における 地域移行について

答 適切に地域移行できるように 準備を進める



森田 休日の地域指導者による地域部活動における人材確保は。

教育長 現在、2校の中学校に部活動指導員として町の会計年度任用職員を配置している。地域移行を進める上で、それらを拡充していくことも視野に入れ、地域の社会体育団体と連携し人材確保に努める。

森田 新たな教育改革の中で休日に地域子どもを支える体制は。

教育長 地域の人材を発掘し太子町にベストな方策を検討する。

液の消毒基準について町民への周知は。

生活福祉部長 厚生労働省が示している70%以上のアルコール含有量の消毒液を使用するように、町ホームページや広報紙で周知する。

森田 自然界の中でウイルスも人間と共存している。大自然の摂理に従い、ポストコロナにおける地方創生都市実現を目指した今後の取り組みは。

総務部長 ウイルスと共存した生活習慣を町民に意識づけしていくことは重要だ。地域の特徴を生かした自律的で持続可能な社会を目指した地方創生都市が実現できるように努力する。

問

保育と就学前教育の充実のため、
最善の方策を迅速に

答

肝に銘じたい



出原 賢治 議員

出原 保育のニーズが高まる一方で、幼稚園の園児数が減少している。保育及び就学前教育に対する現状認識は。

出原 縦割り行政ではない統括した進め方、様々なニーズに対応できるように最善の方策を迅速に行うことが必要ではないか。

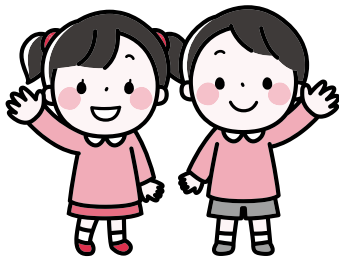
副町長 ご意見を肝に銘じて、私が統括者となって、今月から実施していく。

出原 部課を横断する課題には町長の政治判断が重要になる。方向性がなければ前に進まない。拙速は駄目だが、迅速な判断が必要だ。

町長 貴重な御意見とさせていただきます。

出原 幼稚園・保育園ともに、同じ就学前教育が求められている一方、幼稚園では3歳児を受け入れるなど、保育の機能も担っている。幼保一元化あるいは幼保一体化に対してどのように考えているか。

副町長 少子化や保護者の要望も踏まえ、慎重に検討していく。



次の議会で 太子町議会は 開催第500回を迎えます

太子町が発足した昭和26年の5月2日に開催された第1回太子町議会以来、次回開催する議会で通算500回目を迎えます。

その節目を迎えるにあたり、以下の記念事業を計画しています。

中学生議会の開催

太子町の未来を担う子どもたちが議会を疑似体験し、社会の仕組みをより理解する機会として8月中旬に開催予定としています。また、子どもたちの視点をこれからの議会運営に活かす予定です。



議会だより臨時号の発行

議会開催500回を記念した臨時号を発行予定です。

次回開催する議会でビッグアートを議場に展示

迫力あるビッグアートを展示します。

P16に9月定例会の開催日程を記載しておりますので、この機会に、議会を傍聴しませんか。また、議会の開催日程は変更する場合がございますので、詳細は町ホームページをご覧ください。



画像はイメージです。
本会議で展示するビッグアートとは異なる場合がございます

あの日あの時あの質問 どうなった 以前の

あの答弁

以前の定例会での一般質問が、その後どのように反映されたかを追跡！

198号 令和3年4月25日発行より

質疑

コロナに対する経済対策で見直すべき所はないか？



答弁

反省すべき点もあるが概ねうまくいっている



その後

令和2年度のアスカふるさと応援商品券事業は対象を世帯主としたが、世帯構成によって不公平感があつたので、令和4年5月からの太子町お店応援商品券事業では対象を町民全体と改めた。また、使用可能店を増やし町内での消費を促進し地域経済を活性化させる。早期経営改善計画の作成費は、事業者に制度利用を周知したが浸透していないため、更なる啓発を行い支援していく。

199号 令和3年7月26日発行より

質疑

生理の貧困への理解を深め、女性への支援を



答弁

町内の東西中学校へ生理用品を配布した。他の支援策も今後考える。



生理用品を個室に配置



その後

令和4年7月7日(木)と8日(金)に第5回フードドライブを開催し、生理用品を始め、日用品、食料品、クオカードなどの商品券の寄附を住民にお願いした。寄附いただいたものを活用し、福祉団体を通じて、必要とする人へ支援する。

両中学校の希望に応じて、防災備蓄品である生理用品のうち、使用推奨期限到達前のものを定期的に活用している。



備蓄倉庫の様子

総務経済建設常任委員会

総合治水の強化
大雨から住民の命と暮らしを守るために

4月14日

課題調査

今年度は、「総合治水の強化」大雨から住民の命と暮らしを守るために「をテーマに、近年激増する水害に備えるため、町内の浸水・冠水危険箇所把握や下水道の整備計画など、町内の治水対策について調査研究を行うことを確認した。

●主な質疑応答

問 大雨のたびに冠水し、浸水の危険がある地域や箇所解消に向けた取り組みは。

5月9日

課題調査

平成27年度に経済建設常任委員会（当時）が行った「雨水幹線の整備について」の提言について、その後の対応と今後の計画、大津茂川西側エリアの大津茂川右岸第1排水

答 大津茂川右岸第1排水区の工事（雨水1.4号幹線の整備事業）を現在進めている。今後は、大津茂川左岸第1排水区（大津茂川東側のエリア）の浸水対策事業に取りかかる予定である。大津茂川右岸第3排水区（太子西

中学校から南に下がった蓮常寺地区や立岡地区）については、太子西中学校の運動場に調整地を整備することを検討したが、事業費が非常に高額になることから、ほかの手法等で検討していく。



雨水1.4号幹線の位置図（航空写真）

策は。

答 早期退職の理由は結婚・介護・自身のキャリアアップなどさまざま。新任職員については、今年度も面談を実施し、指導職員を配置している。一方で、年齢の違いからどのように指導すればよいか悩みを抱えている指導職員もいる。また管理職については部下の変化に気づけるように、日々コミュニケーションをとりながら、職場内でキーパーソンとなれるように指導しているところである。

所管事務調査

正規職員に関する事項について質疑を行った。

●主な質疑応答

問 ここ数年早期退職者が多いが、改善

でいる等、この集計の元となる回答から人事異動に反映していく。

5月13日

付託案件審査

付託された条例1件の審査を行った。その結果、全員賛成で可決すべきものとして本会議で報告した。

太子町税条例の一部を改正する条例の制定（専決処分）

●主な質疑応答

問 熱損失防止改修工事等省エネ改修を行った住宅等に係る固定資産税の減免措置について、具体的内容は。

答 窓の改修（二重サッシ化等）を含む床や天井、壁の断熱改修をした場合、申請により減免を受けられる。

6月8日

付託案件審査

付託された条例1件の審査を行った。その結果、全員賛成で可決すべきものとして本会議で報告した。

太子町税条例等の一部を改正する条例の制定

●主な質疑応答

問 納税証明書の交付手数料、固定資産税課税台帳閲覧の手数料、また、そこに記載されている事項の証明書の交付手数料について、「住所に代わる事項の記載」とあるが、具体的にどのようなことを想定しているのか。

答 DV等の被害者等の場合、本人の住所に代えて、親族の住所や支援団体等の住所が記載されると想定される。

福祉文教常任委員会

文化財に関わる提言書を提出

4月13日

課題調査

情報技術の活用による地域福祉と新たな地域コミュニティの形について、アンケート実施への協議を行った。

所管事務調査

(さわやか健康課)

5歳～11歳の新型コロナウイルスワクチン接種体制について、調査を行った。

(社会福祉課)

ひまはび(子育て支援センター)の運営状況、学童の対応、保育施設について、文書回答から協議を行った。

(管理課)

学校現場においてのコロナ禍の影響について、文書回答を元に協議を行った。

5月11日

課題調査

情報技術の活用による地域福祉と新たな地域コミュニティの形について、アンケート内容について協議を行った。

所管事務調査

(社会福祉課)

町外の保育園に通う園児数と、その対応について報告を受けた。

(教育委員会管理課)

①待機児童及び就学前児童に対する体制・対応の現状と計画について説明を受けた。

②就学前の子育て環境(幼稚園)の今後の運営方針と計画、また3歳児からの受け入れについて説明を受けた。

明を受けた。

③2021年には幼児一元化に向け、「こども家庭庁構想」「幼稚園教諭・保育士免許の資格統一化」などが検討されており、今後の動向も踏まえ内部でどうコンセンサスを得ていくのかについて、説明を受けた。

④社会福祉課と教育委員会との連携体制についてどう進めるのか説明を受けた。

6月7日

付託案件審査

付託された教職員定数改善と義務教育費国庫負担率2分の1の復元をはかるための、2023年度政府予算に係る意見書採択の請願について審査を行った。その結果、全員賛成で採択すべきものとして本会議で報告した。

課題調査

太子町における文化財の整備と展示のあり方についての提言書を確認し、定例会最終日である6月17日の本会議終了後に、町長と教育長に対して手渡しにより提出した。



町長と教育長に提言書を提出した



※提言書の内容(抜粋)

・文化財の価値を明らかにする基礎的な調査研究なしに、魅力ある文化財の活用・情報発信はあり得ない。太子町を知るための資料として歴史的な文化財の価値を再認識し、体制の再整備に向けた取り組みを強化すること。

・文化財の保存や展示のあり方にデジタル技術の応用を研究し、写真資料やデジタル資料を用い、公共施設に展示場所を広く展開できるように検討すること。

・近世・近現代の歴史や考古資料にも目を向け、太子町の成り立ちや変遷を伝えるように努め、学校教育における町の認識と誇りの醸成に繋げること。

・町の文化財担当者及び歴史資料館学芸員には、既知の文化財の保護だけでなく、将来を見据えた文化財等の掘り起こしや、地域にまつわる未指定物件を含む関連資産(郷土の風景、近現代の構造物、地域の民話・伝承)に目配せする懐の深さが求められる。人材の養成にあたっては、職員の自己研鑽はもちろんのこと、所属規模での知識・技能の継承、情報共有を行い、他の所属や他の市町とも連携を取りながら地域資源の発信につなげられるような仕組みづくりを検討すること。

・具体的な人員の問題の整理を行うこと(職員の棲み分け)。

文化財担当職員(文化財係)と歴史資料館学芸員(歴史資料館)の職員の体制に不備が見られる。それぞれの棲み分けを行い、組織の確立を行うこと。



沖代線高架より望む。
暮れなずむ車両所に
また一編の列車が
帰っていった。

太子町 ヒストリー

大動脈「新快速」を支える 網干総合車両所

JR網干駅から竜野方面に向かう途中、太子町福地にその車両基地はある。網干駅で降りるとき、「点検のため車庫に入ります」というアナウンスを聞くことがあるが、その「車庫」だ。13万㎡の広大な敷地、1,000人を超える人が働く。所有する車両数は1,846両にもなり、在来線では西日本最大規模を誇る。

○アーバンネットワークの最新線基地

主に取り扱うのは新快速や快速の車両。西は赤穂・上郡から東は滋賀を超えて福井県の敦賀まで、広い区域を駆け回る電車は、点検のために7日に一度はこの基地に帰ってくる。90日に一度は詳細な点検・整備。80万kmを走った後は車検に当たるメンテナンスが行われる。表紙の写真のように、8両編成をまとめてジャッキアップし、台車や部品を取り外して検査することが可能だ。関西の主要都市を結ぶ鉄道の、安全な運行に欠かせない車両基地である。

○誘致は1960年代

関西の車両整備業務は戦前より続く神戸の鷹取工場で行われてきた。1900年当初、蒸気機関車の点検・整備も行われたという。戦前から戦後にかけて、明石や大阪淀川区、高槻、滋賀県の野洲など、各地に車両基地が整備されていった。太子町では1965年に用地買収が始まり、1968年8月に網干派出所としてスタートした。気動車から電車に変わり、都市型の鉄道網へと成長していく中で、始発電車を整備する意味合いから周辺地域に基地が必要となった。

阪神・淡路大震災の影響を受けた鷹取工場の機能を移管して、現在の網干総合車両所になったのは2000年4月。現在では関西圏の主要路線を統括する「総合車両所」となっている。新快速の始発が網干駅となるなど、当町を含む地域の利便性向上と発展に貢献してきた。

○地域との共生、安全第一で未来へ

車両所発足翌年の2001年から、地域とのコミュニケーションを目的とした「ふれあいフェア」を開催してきた。車両所を見学できる企画は鉄道ファンにも人気だ。また、コロナ禍で3年中止になっていた「トライやるウィーク」も次回から受け入れが再開される。公共交通において安全確保は最重要。若手人材の育成や技術力の伝承・向上には特に力を入れているそう。投入された新型車両には、乗客の安全に配慮した工夫が随所に見られ、点検もより迅速になるよう改良されている。

いつの時代も、鉄道は郷愁や憧れを感じさせる存在。これからも我が町とともに、発展・進化することを願いたい。

(出原賢治 記)



安全性向上のため、つり革や手すりを大きく目立つ色に改良



取り外された台車の整備

9月定例会予定

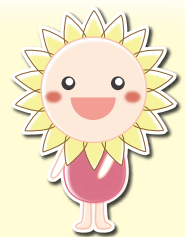
- ・8月29日(月) 【第1日／提案説明】
- ・8月30日(火) 【第2日／一般質問】
- ・8月31日(水) 【第3日／一般質問】
- ・9月2日(金) 【第4日／議案質疑】
- ・9月26日(月) 【第5日／討論・採決】

議会傍聴に お越しください!



◆お知らせ

9月定例会の予定は、左記のとおりですが、変更する場合がありますので、正式日程はホームページまたは議会事務局までお問い合わせ下さい。



太子町議会だより
マスコットキャラクター
たいしん

あなたの「声」を お聴かせください

議会だよりを
読んでのご感想など
お聴かせください。



お問い合わせは太子町議会事務局 まで

◆編集 広報広聴委員会

委員長 森田 哲夫
副委員長 出原 賢治
委員 藤澤 元之介
井村 淳子
首藤 佳隆
中数 清志
上山 隆弘

(森田哲夫 記)

編集後記

5月臨時会で広報広聴委員会の新体制が決まり、本号(203号)より編集作業に臨みました。委員一同、創意工夫し編集しますので1年間よろしく願います。また、今回の議会が太子町議会500回目を迎えるため、記念号発行に向けても編集を進めています。新型コロナウイルスが、今後も変異を繰り返していくと思いますが、ウィルスと共存するポストコロナ社会を目指してお互いが知恵を出し合い、この難局を乗り越えていきたいと思います。

